**地域密着型サービス運営推進会議記録（第１回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 社会福祉法人愛心会　花宝 |
| 施設種類 | 地域密着型特別養護老人ホーム　 |
| 開催日時 | 平成３０年　　５月１８日　　　10時　00分　～11時00分 |
| 会場 | 地域交流室　花笑 |
| 参加者 | 利用者代表 | 人 |
| 利用者家族代表 | 　　人 |
| 地域住民代表 | 　　　　　3人 |
| 有識者 | 人 |
| 高齢者お世話センター | 　　　　　　　　　　　　　　　　2人 |
| 市職員 | 　　　　　　　　　　　1人 |
| 事業者 | 　　　　　　　　　　　4人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 現在の利用状況、事例　資料現在の利用状況について≪現在の利用状況報告≫昨月と比べて登録者の数が減って２６名となっており、新規登録者の方が３名ほど入っております。５月１日に介護１で利用されている方がいらっしゃいますが、認知症が進行しているため、区分変更を検討中です。５人の方が解約されており、２人は心不全で亡くなられており、１人は入院、その他は別の施設に入所されました。介護度別利用者数では、介護１が４名、介護２は２名、介護３は１名減り、介護４は一人亡くなられております。申請中の方は一人です。月別利用状況では大きな違いはありませんが、４月は２月並みの利用者数に戻っています。そして現在の５月では２６名をお世話させていただいております。何か質問はございませんか？質問ですが、この通いサービスとは何でしょうか。デイサービスのことです。利用者様に応じた時間に送迎し、食事のみの方がいたりご家族の都合によって動きます。内容としましてはデイサービスと同じです。宿泊サービスでは９つの個室に、必要に応じて宿泊することが可能です。訪問サービスは訪問介護の方が御自宅に向かい、身の回りのお世話をしております。小規模の場合は買い物への付き添いや、市役所や銀行へのお送りなども行い、様々な内容を含めて訪問サービスとしています。支援１、介護１など、介護度などで限度はあるのでしょうか？介護認定を貰っている方に応じたサービスなので、限度はありません。ただ、ご自身で出来ることはしていただいております。介護度別にある点数の中でサービスを引いていくのは今までのサービスと同じですが、小規模はそのようなものがありません。ただ、点数を超えると、超過分は自己負担となります。支援の方も泊まれますか？互いに相談して点数内で決めています。ただ、市外にお住まいの方は相談をしていただいております。サービスはどこまで使えますか。あと、利用者に合わせたサービスの種類と項目があると聞いたのですがありますか？あります。ショート、小規模、デイがあって、利用者と関わるのはこの３つです。点数は介護度によって決まっており、サービスの量もそれに合わせて決めています。小規模の場合はそこがハッキリとしていません。サービスの受ける具合が変わってくるんですねこの３つの事業所を組み合わせるのはいいですね。そもそもこの施設が出来たのは平成１８年。どうしてもともとこのサービスが作られたのかといいますと、入院できる病院の数が減り、退院して家に戻って身の回りのことが出来るかという不安もあり、ご家族にも用事があってなかなか世話が出来ないから、柔軟なお世話をしていこうということでこの小規模が出来たのです。続いて花宝の説明に移らせていただきます。この施設の定員は２９名で、そのうち利用者は１５名。うち１名は現在入院中です。年齢の内訳としましては、86～90歳が多く、１００歳の方こが１名いる状況です。要介護度別では介護３が多く、性別は女性が多いです。つい最近は男性の方が入られております。花宝に入居されるまえの所在ですが、ショートステイ、小規模から来られたり、病院から退院したのはいいものの身の回りのことをするのが厳しいため来られたという方もいらっしゃいます。まず地域密着型特別養護老人ホームとは？についてですが、阿南市に住民票を持つ介護度３～５の方が入居できます。このユニット型と呼ばれる９～１０人の少人数ケアにより、家庭的な雰囲気の中、顔なじみのユニット専属の職員により目配り気配りの行き届く介護を行っています。このあとで、もしお時間があるようなら見学していただけるようであればぜひお願いします。これらの主旨は小規模と似ています。利用者の入られる部屋はすべて個室となっています。４月１日に開所して以来、愛心会の理念を意識しております。安全、安心、健康で、従来の施設介護の経験で築いてきた基礎的な介護力で毎日の健康チェックや食事、入浴、排泄、整容等のお世話と生活リハビリを提供し、施設の敷居を低くした柔軟な対応を心がけ、面会に来やすい雰囲気作りを徹底しています。現状、利用者の方は施設に入れられたという認識が強く、本人としては不満を持っているようです。入れられた、ではなく引っ越してきたという考え方で接しています。地域密着型として家でしていることはできるよう、人数は少ないものの手探りでやっています。このように対応した事例があり、今までかかっていた病院を受診したいという人は好きにさせています。地域密着型といえば、２４時間シートという各入居者のケアについての細かい要望をわかりやすく記入し、かつ発展性、可変性を持たせた様式の導入を決定しており、現在その一覧を作成しているところです。多かったのが、緊急の受診です。ご家族が対応できないケースが４回ほどありました。まだまだ手探りの段階ですが、暮らしやすい家を目指してこれからも入居者様とご家族に真摯に向き合っていきます。どうぞ地域密着型特別養護老人ホーム花宝をよろしくお願いいたします。質問はございますか。地域密着型ということですが、グループホームとの違いを教えてください。今回、入居者様の中でグループホームからいらっしゃった方がおり、介護度が大きくなったのが理由の一つということでした。グループホームではシャワー浴でしたが、今まで歩けていた人が車椅子に乗ることによってトイレやお風呂が必要になりました。花宝では車椅子の方でも快適なお風呂やトイレ、専用の設備が整っています。体が自由に動かせて自立できる方はいらっしゃいますか専用の歩行器と付き添いが必要なので、いません。家で骨折した人がいると聞いたが、それを未然に防ぐことはできるのでしょうか。見守ることしかできないのでしょうか。利用者様には自覚がないので、病院のほうで診てもらっています。決まった動きをする方は痛がるので、その場合はレントゲンを撮ってもらっています。気が付いたら圧迫骨折していたケースもあるので、それほど珍しくありません。今年から会議は２か月に１回ということになり、年に６回はする計算です。そのうち３回は合同で行い、その時はぜひ会議に来ていただきたいです。日程のほうはどういたしましょうか。合わせる形で日をズラしたほうがよろしいですか。委員長がいないのでまだ確定できませんが、わたくし個人としましては、次回もこれで良いかと。では、そのようにさせていただきます。時間の方はどういたしますか。午前の方がいいです。それではまた日程のほどを後日説明させていただきます。今日は貴重なご意見ありがとうございました。次回もよろしくお願いします。 |
| 議題地域住民市職員地域住民市職員お世話センター地域住民事業者地域住民民生委員地域住民 |